



今できることを積み重ねて再来訪につなげる

新型コロナウイルスにより一変した生活様式になってから、半年が過ぎようとしています。私が携わっている観光分野も大きな打撃を受け、イベントも軒並みキャンセルになりました。SNSなどを活用した国内外への情報発信は、ここ数カ月に変更や中止のお知らせが多くなりました。そんな中でも市内には、有明海^{のり}の海苔ひびの風景や海苔網を支える支柱の撤去作業の様子、黄金色に輝く麦畑など、見た人がほっこりするような風景があります。このような違った角度からの柳川の魅力を発信しています。

まだ先が見えない不透明な状況ですが、一方で、新しい生活スタイルに合う市場や旅行者のニーズ、マーケティング戦略など、今後の方向性を模索しながら、コロナ終息後の回復に向けたさまざまな対策を検討しています。たとえ今お越しいただけなくても、今できる小さなことを積み重ねていくことで、再来訪や口コミの拡散に向けた継続的な関係人口の拡大につながればと思っています。



平原 真紀子 (41 歳)

【プロフィール】市観光課に所属。着地型観光事業や観光振興・誘客支援事業を担当